昭和46年8月7日第三種郵便物認可　ＳＳＫＡ増刊通巻6204号（毎月６回１の日６の日発行）２００８年４月15日発行

SSKA
東腎協
2008年６月１日
No.172

NPO東腎協第３回総会議案集

講演「障害者福祉をめぐる動向と課題」～患者会活動の意義～

講師：立命館大学産業社会学部教授　峰島　厚先生

特定非営利活動法人　東京腎臓病協議会
事務局・〒170－0005　豊島区南大塚２－42－６　信友大塚ビル６Ｆ
郵便振替口座　00150－0－128390　☎03－3944－4048　FAX03－5940－9556
E-mail info@toujin.jp　ホームページ　http://www.normanet.ne.jp/~touzin/

NPO法人東京腎臓病協議会
第3回総会式次第

開会あいさつ
定足数確認
・正会員参加人数確認
・総会の成立確認
会長あいさつ・黙祷
来賓あいさつ
祝電・メッセージ紹介
議長団選出
議事録署名人選出
審議事項　（下段参照）
・第一号議案～第三号議案
報告事項
閉会あいさつ

審議事項

第一号議案
平成19年度事業報告及び収支報告
会計監査報告

第二号議案
平成20年度事業計画及び収支予算（案）

第三号議案
役員選出
・オブザーバーから理事への承認

報告事項

・事務所移転の状況について
・会員拡大のお願いについて
・その他報告すべき事項

記念講演

「障害者福祉をめぐる動向と課題」
～患者会活動の意義～

講師　立命館大学産業社会学部現代社会学科（障害者福祉の制度政策論、実践論）
教授　峰島　厚　先生

【経歴】
東京都立大学大学院博士課程修了
愛知江南短期大学経て現在、
立命館大学産業社会部教授、全障研副委員長

【著書】
「障害者自立支援法と実践の創造」
「転換期の障害福祉」（全障研出版）

NPO法人東京腎臓病協議会第3回総会のご案内

NPO東腎協定款第24条により、第3回総会を左記のとおり総評会館において開催します。会員・家族のみなさん、ぜひお誘いのうえご参加下さい。尚、審議事項の採決についてはあらかじめ決定している正会員のみとなりますのでご了承下さい。

記

日時　2008年6月1日（日）午前10時開場　10時30分開催
※総会は午前10時30分から行われます。

次第　NPO法人東腎協第3回総会（午前10時30分から4時）

講演　「障害者福祉をめぐる動向と課題」～患者会活動の意義～

講師　立命館大学産業社会学部教授　峰島厚先生

会場　（財）総評会館
TEL　03（3253）1771（代）
患者会正会員（旧幹事）さんには、ポスターを同封した返信ハガキで参加人数をお知らせください。
※参加者はこの議案集を必ずご持参下さい。

交通
- ●東京メトロ千代田線・新御茶ノ水駅　B3出口（徒歩0分）
- ●東京メトロ丸の内線・淡路町駅　B3出口　※（B3出口まで徒歩5分）
- ●都営地下鉄新宿線・小川町駅　B3出口　※（B3出口まで徒歩3分）
- ●JR中央線・総武線・御茶ノ水駅　聖橋出口（徒歩5分）

※B3a出口は、違う方向へ出ますのでご注意ください

駐車場　利用できませんので、公共機関でおいでください。

ご案内図

二〇〇七（平成19）年度事業報告

期間 2007年4月1日～2008年3月31日

昨年度は特定非営利活動法人格をとって3年目の年になりました。

はじめに2年に1度の診療報酬改定が本年度行われました。診療報酬改定の内容は透析の時間区分の復活で①4時間未満（2117点）、②4時間以上5時間未満（2267点）、③5時間以上（2397点）の3区分になります。これは、全腎協が主張していた「長生きできる長時間透析」が診療報酬上で評価され主張が認められたことで、はじめての人工腎臓の増点となり活動の成果が実る形になりました。

4月から施行されている後期高齢者医療制度の施行と透析患者が高齢化を迎え、ますます私たちの医療と生活の後退が危惧されています。

今後の課題としても会員拡大で正会員の皆様には、先日も「会員純増3名」のお願いをしたところでございます。また会員減少にともない東腎協も非常に厳しい予算となり事業の見直し、事務所移転の問題など解決しなければならないことが山積しております。そんな困難な状況の中で予定された事業に今期も取り組みましたのでここに報告いたします。

1．腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業

①「臓器移植キャンペーン」・臓器提供意思表示カードの配布

第27回全国一斉臓器移植キャンペーンが今年も実施されました。

東腎協では10月7日（日）に銀座でパレード、その後、銀座日航ホテルで決起大会が行われました。銀座には、中南部、多摩ブロックの会員中心に52名の参加がありました。また、同時開催の上野恩賜公園での「臓器移植意思表示カード」の配布は、6000枚を道行く人たちに手渡しました。北部、東部ブロックの会員中心に60名の参加があり盛況でした。

本年もまたより多くの会員の方々の参加をお待ちしています。特に移植を待っている若い方にも積極的に参加を呼びかけていただくようお願いします。

②「腎臓病を考える都民の集い」を開催し、広く一般市民に腎臓病の早期発見・早期治療を啓蒙する。

事業の名称である「腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業」の目的を遂行するため「第20回腎臓病を考える都民の集い」は2月24日に総評会館で開催されました。参加者は146人でした。テーマは「CKD（慢性腎臓病）の予防管理腎不全保存期・透析患者の心のケアについて」日本医科大学付属病院第2内科医教授の飯野靖彦先生と松江青葉クリニック精神科医師春木繁一先生に担当していただきました。その後パネルディスカッションとして、講演いただいた飯野靖彦先生、春木繁一先生と、松村満美子様の座長で、意義ある会話を参加者に提供しました。最後には、松村満美子様の著書「腎不全でもあきらめない」のご本と低たんぱく米を販売している（有）エコ・ライス新潟の商品提供による抽選会を行い、会場が盛り上がり閉幕しました。

③機関誌「東腎協」の発行

編集委員会では、今期No168号の5月号からNo171号まで、定期発行しました。

特集についてNo168では、関川病院院長の葛原敬八郎先生に「バスキュラーアクセス・トラブル（内シャント・トラブル）に対する最近の治療について（経皮的血管内治療法、PTAを中心に）」と題して解説していただきました。No169では第2回通常総会の報告と「東京都に於ける透析医療の現状と将来」と題して杏林大学学長の長澤俊彦先生をお迎えして講演していただいた内容を掲載しました。No170は東腎協35周年記

念号で通常28頁ですが、40頁の構成で発行しました。特集は35周年ということもあり、4名の長期透析患者にお集まりいただき透析導入の経緯から医療制度が確立されていない時代の苦しさ、また水分や塩分管理の大変さなど実体験をお話ししていただきました。会員さん訪問でも、35年透析者3名に登場していただき当時の大変なお話や長期透析のコツなどをお聞きしました。それから毎年行われている都予算要請の主な要請項目と回答については、10頁を割いて完全版を掲載させていただきました。

また、4月より施行されている「後期高齢者医療制度」がスタートしていますが、この制度の概要を糸賀相談役にまとめていただきました。No171ではさらに詳しく「後期高齢者医療制度」の内容を掲載させていただきました。また2006年から首都圏でも行われている、河川、運河を使った小型船舶での災害時の患者移送等の検証航海の報告を掲載しました。

会報は会員の皆様の重要な情報と位置付け、今伝えなければいけない情報を敏速且つ正確にお伝えしていける努力を重ねていきます。

④ホームページの維持管理を行い、活動内容を紹介し、腎臓病に対する意識の啓発を図る

ホームページ委員会では、知りたい事が検索し易く入会に結びつくような内容のホームページとすることを目指しました。また、「総会」、「臓器移植推進キャンペーン」、「腎臓病を考える都民の集い」などの行事のお知らせを随時掲載してきました。

これまでホームページに蓄積されてきた内容が膨大なため現在まだ整理がつかない状態ですが、出来るだけ早い時期にリニューアルできるよう、作業を進めていきます。

今後は行事のお知らせ以外の情報についても間髪いれず掲載できるような体制作りを目指していきたいと考えています。

⑤広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催する

この事業については主にブロック交流会や青年層を対象とした活動によって対応してきました。また、病院訪問、会員交流会を行い知識普及に努めました。

今後の取り組みによっては、意義ある事業となると思われます。

〈1〉各ブロック活動

北部ブロック

北部ブロックでは、平成19（2007）年度は前年に続き菊地理事がブロック長を担当し、理事は昨年と同様5名で人数に変更はありませんでした。

上期の未組織施設への活動は2007年4月13日から4施設を訪問したに留まり、あまり活発な活動はできませんでした。

下期の活動では10月7日に臓器移植キャンペーンが上野公園にて開催され、北部からは理事4名が参加しました。

また、本年の会員交流は11月11日に豊島区立大塚地域文化創造館にて開催し、16名が参加しました。

榊原会長から、「全腎協では対透析患者数比で50％を目指しているが東京の会員減少傾向に歯止めがかからず、苦慮している」との報告がありました。また、会員拡大に向けた取り組み等参加した正会員から活発な提言が寄せられました。

多数寄せられた意見の中で、上垣正会員から「院長が大変協力的で2ヶ月に一度新しい患者の氏名を教えていただいて、大変に助かります」という発言がありました。

施設と患者会とが一体となった理想的な姿を連想させる報告でした。

今後とも、一人でも多くの透析患者に会員になって頂けますよう、正会員並びに役員各位のご尽力と協力をお願いします。

東部ブロック

2007年の第1回東部ブロックの活動は、11月11日（日）かつしかシンフォニーヒルズ4階、ライラック会議室において交流会を開催致しました。

小関事務局長の司会進行、ブロック長の挨拶後、交流会が始まりました。

始めに各患者会及び病院等の会員・正会員より現状報告があり、引き続き個人会員より報告がありました。参加人数38名。

第2回東部ブロック交流会は、2月3日（日）に開催され、学習交流会は、雪が降り続く中83名の

参加がありました。開催場所は亀有地区センター内多目的ホール（イトーヨーカドー亀有駅前店7階）で、午後1時より蛭田理事の司会進行ですすめられました。

はじめに小林東部ブロック長の挨拶があり、引き続き講師の山下賀正先生の略歴の紹介があって、午後1時05分より山下先生の講演がはじまりました。

講演内容は「血液検査データをどう読むか、シャントの健診システム、透析生活に左右するシャントトラブル」に関する事で約1時間、講演終了後、質疑応答に移り3～4人の方から質問がありました。

午後2時20分休憩に移り、降雪のため休憩時間を早めに切り上げ第2部に移りました。

第2部は前回（2007年11月11日）に引き続き、小関事務局長に講師をして頂きました。講演内容は「後期高齢者医療制度の状況と当事者運動の必要性について」。講演終了後、戸倉副会長より閉会の挨拶をしてもらい後片づけをして午後3時20分無事終了しました。

今後も交流会を通じて多くの患者の理解を得て会員拡大に繋がる努力をしていける活動をしていきます。

中南部ブロック

平成19年11月25日（日）新宿の「JA東京南新宿ビル会議室」で学習交流会を開催しました。

糸賀相談役を講師に迎え、「後期高齢者医療制度を学ぶ」と題して、資料を基に勉強しました。（詳細は会報「東腎協」No171号特集をご覧下さい）

その後は、懇談会（体験交流会）を行いました。会員拡大などに活発な意見が交わされ、時間が足りませんでした。この3月には、バーベキュー大会を行う予定でしたが、スケジュール等の調整が付かず、延期と致しました。改めてご案内いたします。

会員拡大は、クリニック、病院を訪問できる理事が回りました。しかし、なかなか患者には会えず、患者会設立は進んでいません。

患者会役員の高齢化で、引き継ぐ人材も無く、解散に至ってしまった患者会もあり、会員拡大は厳しい状況です。役員、会員がいかに行動するかが課題です。

多摩ブロック

今期のブロック単位の活動は出来ませんでした。ブロックの会員各位には、大変に申し訳なく思っております。何よりも大切な患者会、会員の方々に顔が向けられませんでした。ブロックの担当理事が少人数で、且つ東腎協活動に時間を取られました。

来期は患者会活動の基本であります、お互いの接触を進めて行きたいと考えております。

尚、今期（19年下半期）は、日頃患者会運営に大変ご苦労されております、会長、正会員をお訪ねし、時間をかけて現在の会の状況、協議会に対してのご意見、患者会の運営方針等をお話しさせていただきまして非常に有意義な時を持たせていただきました。

会長、正会員の皆様には貴重なお時間をいただきお話を頂戴いたしました。誠にありがとうございました。

今後もブロックの会長、正会員の皆様をお訪ねしてお話を頂戴したいと考えております。また、日頃患者会の会員の対応、集金、入会交渉等々ご苦労されております患者会の役員の方々とも是非ご面談いただきたく思っております。

昨年9月23日の東腎協交流会の席上、今後の多摩ブロックの運営方針を述べさせていただきました。多摩地区の地域性、アクセスの地理的問題でブロックを6つの小ブロックに分け、責任者の接触を大切にし、少人数の会議の有効性を求めたく、また地の利の関係で、集まりやすい点を考慮させていただきました。

今年2月3日に学習交流会（第一部、災害対策の学習、（第二部でブロック運営）の最終案を提示させていただく予定でしたが大雪の為に中止となりました。現在の理事の人数を考慮し多摩ブロックを3グループに分け運営していく計画をいたしました。ただし確実に運営して参るには、当ブロックの担当を行う東腎協の理事になられる有能な人材を発掘、育成することを最優先課題と考えており、三多摩ブロックの活動地盤を堅めたく考えております。

〈2〉会員拡大施設訪問

4／13　練馬高野台クリニック、練馬順天堂病院

（糸賀、榊原、菊地）

4／24　寺田病院、井の頭クリニック、小金井太陽病院、小作クリニック（吉澤）

7／5　駒込共立クリニック（榊原）

7／17　自靖会親水クリニック（石井、小林）

7／24　白鬚橋病院、立花クリニック、両国東口クリニック、両国駅前クリニック、日伸ビルクリニック、新江東橋クリニック、土屋クリニック、西大島クリニック、門仲町クリニック、豊洲クリニック訪問（吉澤）

8／26　みたかの森クリニック、井の頭クリニック訪問（菊地、吉澤、小野）

9／17　自靖会親水クリニック訪問（石井）

9／20　江戸川病院訪問（石井）

9／25　自靖会親クリニック訪問（石井、小林）

9／27　町田ふれあいホスピタル訪問（木下、荏原）講道ビルクリニック、板橋総合病院Ｉタワークリニック、おおつか内科クリニック、池袋駅前クリニック訪問（菊地、古木）

11／1　江戸川病院訪問（石井）

11／23　江戸川病院訪問（石井）

11／24　江戸川病院訪問（石井）

12／24　豊島中央病院駒込共立クリニック訪問、平塚正会員面談（榊原）

12／25　駒込共立クリニック訪問（榊原）

12／27　板橋中央病院、新大久保渡辺クリニック訪問（榊原）

12／28　練馬高野台クリニック、順天堂大学付属練馬病院、敬愛病院訪問（糸賀、菊地、古木）

2／15　立花クリニック、日伸クリニック、新江東橋クリニック、土屋クリニック、両国東口クリニック、両国駅前クリニック（吉澤）くすのき21クリニック、八木内科、成増クリニック、板橋中央総合病院Ｉタワークリニック訪問（菊地、古木）

2／21　中野南口クリニック、大塚台クリニック、すがも腎クリニック（菊地、古木）

2／28　江戸川病院訪問（石井）

3／6　大森東急インで第1回全腎協青年会議が開催され東腎協より2名が参加し、全体では89名の参加でした。会議では6つのグループに分かれ、青年部の抱える問題について考え話し合い、全体会議でさらに皆で話し合いました。

平成19年9月22～23日（土・日）茨城県の「かんぽの宿大洗」にて第21回全腎協関東ブロック青年交流会in大洗が開催され東腎協より4名が参加し、全体では46名の参加でした。交流会は茨腎協の大貫青年部長の挨拶ではじまり、「腎臓移植の進歩」と題して、国立病院機構水戸医療センター移植外科医長・湯沢先生の講演が行われました。

また毎月1回行っている勉強会では糸賀相談役を講師に迎え、青年部幹事を中心に埼玉県の青年部幹事も加わり、年金制度、医療制度など多岐に亘り勉強を続けています。勉強会を通じ団体として何を引き継ぐべきかを見極め、青年層の強化を計り、後継者育成に取り組みます。

〈3〉青年部活動

平成19年10月21日（日）田町の東京ポートボウルにて青年部主催のボウリング大会が開催され26名が参加しました。幅広い年齢層の方から参加があり、ボウリング大会、表彰式を兼ねた交流会とも大いに盛り上がりました。今後も青年部主催の交流会を続けていきます。

〈4〉地域腎友会委員会

今期は、平成19年度6月3日に足立区地域腎友会（会長・梅山利夫様）、同年6月17日に墨田地域腎友会（会長・田口一郎様）の2地区で地域腎友会が設立されました。東腎協の地区担当理事及び、新会長に就任されました各位のご尽力の賜物でございます。今年度は、7区1市の8地域腎友会が活動いたしております。

活動の目標は地域の災害対策と通院費（タクシー券）の是正を第一目標として、各自治体の関係機関に設立の挨拶と課題の提示を行

っております。担当者の努力の結果、葛飾区地域腎友会は平成18年12月には、葛飾区地域腎友会で1万円のタクシー券の増額が決定し、今年2月には墨田区地域腎友会として心身障がい者のタクシー券年額5千円と重度障害者と人工透析者は別に1万円の増額があり、透析者は年1万5千円の大幅増加が決定しました。

我々以外の心身障がい者も大変な恩恵を受けることでしょう。

都内のタクシー券は市、区、町、村により大幅な格差があることを是非認識しておいて下さい。足立区腎友会も区としての予算の認可があったことを聞いております。

町田市腎友会は荏原会長のご努力が実り、市の健康課、防災課を中心とし市内の透析機関、透析患者会の三者が一体となり透析医療機関連絡会がスタートし、今年の内に市としての透析者の災害対策マニュアルを完成することになっております。

以上の点から、各地域腎友会ともそれぞれの問題に対して着実に成果を上げられ、地域の障がい者にも処々の恩恵を与えております。

2．腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業

広く一般市民の腎臓病に関する医療・社会保障制度の相談業務は月に5件のペースで電話相談を主にしてきました。会員対象とNPOになってからの一般市民を対象とする相談がありました。

特に「第20回腎臓病を考える都民の集い」の相談は会場の参加者から数多く寄せられ、当初の目的を達しました。

3．腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業

①「都庁予算要請懇談会」都庁各局職員との懇談

行政委員会

会員の皆様も良く認識の通り、私たち透析患者が、「いつでも・どこでも・安心で安全な」透析を受けられ、自己負担なし（所得により負担も）を前提の医療を提供される制度（保険、国、自治体）により、過去も現在も多くの仲間が大過なく透析生活を送っています。そして将来もより質の高い透析医療を望んでいく為に、所管である都庁福祉保健局疾病課を始めとする関係各局とのコミュニケーションをより強く、より深く進める努力を今期も真摯に行ってきました。平成19年7月19日に恒例の「平成20年度東京都予算要請懇談会」、9名の理事で都庁第1庁舎会議室において丸1日をかけ、5つの各担当項目につき、私たちの願いと要望を力一杯訴えてまいりました。

透析医療も年々制度の見直しや手直し、その上新規の保険制度まで今期（4月より）施行が行われます。この新規の「後期高齢者医療制度」につきましては、機関誌「東腎協」No170とNo171に詳しく解説させて頂きましたので、熟読をお願い致します。この新しい制度施行に当たりましても、全腎協を先頭に各都道府県と高齢者の透析患者に大きな負担が及ばないように要望しました。被用者保険の連結や低所得者の減額措置はありますが、予断を許さない状況です。また、透析患者の皆様にとって大きな気がかりである2年に一度の「診療報酬改定」これも全腎協を先頭に東腎協を始め全国各県腎協の必死の活動に、まだ最終結果は出ていませんが、私たちの要望が盛り込まれた結果が期待されております。（決定次第全腎協を通じ広報致します）

行政委員会並びに理事会全員は、30％を切る組織率の中で組織強化（会員増）に必死に取り組みながら、対外的には26万人いると言われている透析患者の内、未加入の会員の方々を代表して「透析患者の声」として活動しています。

2008年度都庁予算要請

腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業、この事業遂行のため今年度の行政委員会は、これまでも志して来た〈1〉行政とのより良いコミュニケーションを目指して、〈2〉政治（都議会）への強い働きかけと透析医療の実態理解の推進、〈3〉透析患者の現状、医療・福祉制度の死守等を活動の柱として努力してまいりました。重要な活動として全力を挙げて取り組んでおります、7月の行政各局への「都庁予算要請」を丸1日かけ真剣に要請してきました。本年度の詳細要請項目は既に機関誌No170に掲載済みであり

ますが、本年度「NPO法人東腎協」としての最重点要望項目として

① 心身障害者医療費助成制度・マル障の堅持継続、東京都医療費助成制度・マル都の堅持継続

② 災害時、緊急時透析治療体制の早期確立

③ 糖尿病性腎症からの透析患者増加防止のための知識や予防、管理体制の強化

④ 腎臓病予防、啓発活動の「都民の集い」の予算化

⑤ 腎臓移植体制の強化、特に献腎移植普及のための予算化

以上要望しました。

②「都議会ヒアリング」都議会議員との懇談

9月6日には5名の理事で都議会5党に私たちの要望書を手渡し、短い時間でしたが透析患者の実態や不安を訴え、都議会のご理解と力添えを熱望して参りました。

災害対策委員会

災害対策委員会では、昨年までの取り組みを継承し、いつ起きてもおかしくないと言われている東京直下型地震等に備えた災害時の対応について、各災害対策委員持ち回りで、機関誌の1ページを担当しました。その一つとして、平成19年10月1日より、一般向け緊急地震速報がテレビやラジオ等により伝えられるようになりましたので、地震による被害を軽減するためにどのような行動をすれば良いのか、気象庁の発表資料から緊急地震速報の概要とその利用方法について整理し、各自に考えてもらうための題材を提供しました。また、11月3日には、昨年から首都圏でも新たな取り組みが行われ、それをさらに発展させた災害時医療支援船構想の検証航海が行われ、東腎協も参加しましたので、その報告を行いました。現在、東腎協入会者全員に配布している災害・緊急手帳の在庫がなくなったため予算に計上している災害・緊急手帳作成事業を、災害対策委員が担当し内容の見直し等の検討を行っているところです。

4. 関連する他団体との協同事業

①「国会請願」

全腎協は設立5年後の1979（S．54）年の総会において「腎疾患総合対策」を提起し、その実現を目指して第36次国会請願まで、会員の協力のもと、最近では毎回100万筆以上を集めてきました。昨年2006（H．18）年の社団法人「全腎協」第29回総会で「新・腎疾患対策」を提起・採択されたことに伴い、その早期確立を目指して、国会請願しました。

第37次国会請願は3月27日に国会への行動を実施しました。紹介議員は事前に国会の厚生労働委員の中で東京選出の議員や東腎協独自の紹介議員を訪問して、お願いしました。

署名数、全腎協は32,475（前年36,096）筆で、JPAは31,473（前年34,400）筆でした。募金はJPAとあわせて2,408,321円（前年2,511,014円）でした。

当日は多数の国会議員の先生方に会員の努力の署名用紙を渡してお願いしてきました。

②（社）全腎協、NPO東難連に協力及び協力金を出し、不特定多数の方々に腎臓病について広く啓蒙活動を行う

全腎協

6年間に亘り、全腎協理事として、特に平成16年、17年の2年間は全腎協副会長として大きな重責を果たされた藤原相談役が、誠に残念なことに、平成18年10月に永眠されました。

その東腎協、全腎協に残されたご功績は言葉に尽くせぬ程の多大なものがあります。首都圏、東京からは2名の理事輩出を要請されていた中、人材難を理由に故藤原さんが長年に亘り孤軍奮闘を余儀なくされ、またそれを全うされました。

その後を継ぎ、同じく人材難の中、今期榊原会長が東腎協兼任の上、全腎協理事として選出されました。また、全腎協総会における社員代表として戸倉副会長が推薦されました。

さて、全腎協の活動には46都道府県の県腎協の意見を集約し、全透析患者およびその家族が賛同し参加されました。一般会員の皆様の「命と暮らしを守る」を主テーマに、社団法人として会員のより高いQOLの向上を目指すと共に、社会的に認められ、理解され社会貢献に寄与して行く事を目的とした団体だと考えます。その主テー

マ「命と暮らしを守る」活動として、全腎協は会員数日本一の自負心のもと、日頃よりその目的の為、国（特に厚生労働省）への働きかけや、腎臓病予防の啓発、啓蒙活動、臓器移植（特に献腎移植）の推進活動策を始めとする、障害者や社会的弱者の救済や自立の為の社会保障制度を目指し、広範囲の活動を行っております。

個々の活動につきましては、機関誌「ぜんじんきょう」にて色々な機会を通じ、会員の皆様にご報告してまいります。

東難連（難病16団体で組織している団体）

田中理事が、NPO東難連理事長として就任しており、総会や、無料難病医療相談、ピュア（当事者）相談員研修会、就労シンポウムなどを催し、難病者の福利厚生の一助を担ってきました。

東京・無年金障害者をなくす会には会議が午後6時からのため体の負担等大きなため現在活動参加しておりません。（会費は年額3，000円納入）

5．福祉移送相談・推進事業

NPOを取得し、通院福祉移送を行おうとする団体の相談及び全腎協助成金申請の推薦

今年度は福祉移送についての相談、全腎協への助成金申請の推薦はありませんでした。

6．腎臓病患者の食事療法に資する事業

①低たんぱく米の広報・斡旋、災害時備蓄米斡旋

活動報告

6／12　中野区立武蔵台小学校の田植えに参加

10／18　エコ・ライス新潟面談

11／18　収益事業委員会会議

収益事業委員会

新潟県長岡市の（有）エコ・ライス新潟とNPO法人米ニケーションとの「業務連携協定」「災害支援協定」「低タンパク米等販売の契約」を平成18年4月に締結して、丸2年になります。

種々の業務提携での催しや「災害支援協定」は、現在も生きていると思いますが、売り上げ（収益）を期待した「低タンパク米、春陽」は予想を大きく下回る結果となり（元々、透析患者には強いタンパク制限がない）、双方とも「春陽」に関しては当初の見通しの見直しを迫られています。

そこで委員会としては、（有）エコ・ライス新潟さんとの今後の事業展開、連携について、基本的に見直しを行い話し合いを持つこと、それに2年間も新規事業の企画、検討がなかったことを反省、早急に委員会並びに理事会で多くのアイデアを聴取し、また会員の皆様からの情報も含め、これからの収益事業の役割と共に、具体的提案をして方向性を出していきます。

②NPO米ニケーションと協力し、小学校社会科の授業の一環である「低たんぱく米」収穫までの補助及び教員とともに食育指導を行う

毎年武蔵台小学校5年生が、授業の中に取り入れている田植えに参加してきました。

はじめにエコ・ライス新潟の阿部社長によります低たんぱく米の植え付けから刈り取りまでの説明が行われ、続いて、腎臓病患者の立場から岸里事務局員が、腎臓病とは、どのような病気なのか、また低タンパク米が必要な理由を説明しました。

その後の米の収穫作業には残念ながら参加できませんでした。

7．その他の事業

広告掲載事業・年4回の機関誌上広告掲載

NPO東腎協の機関誌「東腎協」の誌面に理事会で承認を得た業者の広告を掲載する事業であり、その広告記事を掲載することにより、会員の福利につながることを期待して事業の拡大に努力しています。編集委員会が担当し、会員との唯一のパイプである機関誌の作成とともに、広告業者との交渉・広告原版のチェックなどを行っています。19年度協力頂いた広告主様は次の各社です。（順不同）

エルピス（株）、ベータ食品（株）、明治製菓（株）、（有）ムコス、（有）ゲルソン商会、テンプスタッフロンティア（株）、（株）イーホープ、（株）ハッソー、賢島ビューホテル、（株）サニーコーポレーション、三山（株）、（有）トキノコーポレーション

二〇〇七年度主な活動記録

2007年4月

1 深川橋クリニック腎友会総会出席、臓移連会議（榊原）
3 東京都福祉保健局疾病対策課係長の転勤により新係長訪問、臓移連メディア懇談会（榊原）
5 ぜんじんきょう声の会報No.220録音及び発送（岸里）
7 三役会（4人）、決算資料作成
10 臓器移植関連で公明党太田代表、漆原国対委員長、自民党加藤紘一議員秘書訪問（榊原）
12 とうきょうフォーラム実行委員会（榊原）
13 会員拡大のため練馬高野台クリニック、練馬順天堂病院前田先生訪問（糸賀、榊原、菊地）
14 青年部役員勉強会（11人）
15 第14回理事会（16人、オブ1人）
20 病気腎移植の件で臓移連と国会議員訪問（榊原）
21 事業・会計監査（軽部、篠原、小関）
22 あけぼの友の会総会出席、NPOさくらの会総会出席（榊原）
24 会員拡大のため寺田病院、井の頭クリニック、小金井太陽病院、小作クリニック訪問（吉澤）
27 臓器移植法改正について公明党太田代表、漆原国対委員長訪問（榊原）
28 第3回城北移植医療勉強会（役員11人、参加49人）

2007年5月

5 三役会（4人）
6 墨田区地域腎友会設立準備会（10人）
10 自民党移植勉強会（10人）
11 とうきょうフォーラム実行委員会（榊原）
12 青年部役員勉強会（8人）
13 第15回理事会（15人、オブ1人）
18 国民医療推進協議会全国大会出席（6人）
19 全腎協総会（榊原）
20 全腎協大会in大阪（7人）
吉祥寺あさひ腎友会総会にて医療制度講演（小関）
代々木山下医院勉強会（3人）

2007年6月

3 NPO東難連総会（3人）
9 青年部役員勉強会（12人）
10 第16回理事会（19人、オブ4人）
12 臓移連関係で加藤紘一議員、公明党太田代表訪問（榊原）
エコ・ライス新潟と共に中野区立武蔵台小学校低蛋白米「春陽」田植え（2人）
17 青年部役員会議（9人）
北診療所患者会総会出席（榊原）
19 臓移連会議（榊原）
24 三役会（3人）
28 NPO東難連2008年度都庁予算要請懇談会出席（榊原、田中）
30 全腎協理事会（榊原）

2007年7月

1 全腎協理事会（榊原）
3 「東腎協」No.169会員さん訪問で松和患者会西新宿支部田中克人様取材（岸里）
5 会員拡大のため、駒込共立クリニック河辺院長訪問、全腎協厚労省交渉（榊原）
7 全腎協課題別会議in大阪（3人）
8 全腎協課題別会議in大阪（3人）
14 全腎協関東ブロック会議in群馬（5人）
17 会員拡大のため自靖会親水クリニック訪問（石井、小林）
15 全腎協関東ブロック会議in群馬（5人）
18 2007年度上期会計納入調査（広瀬）
19 2008年度都庁予算要請懇談会（9人）
22 第17回理事会（17人、オブ3人）
24 会員拡大のため白髪橋病院、

立花クリニック、両国東口クリニック、両国駅前クリニック、日伸ビルクリニック、新江東橋クリニック、土屋クリニック、西大島クリニック、門仲町クリニック、豊洲クリニック訪問（吉澤）

28 三役・ブロック長会議（8人）

全腎協理事研修会（3人）

青年部勉強会（10人）

青年部会議（7人）

2007年8月

2 全腎協移植推進委員会（榊原）

5 編集委員会（8人）

第10回地域腎友会交流会（総勢63人）

18 青年部役員会議（7人）

19 第18回理事会（19人）

23 全腎協厚労省で後期高齢者医療政省令説明公聴、組織対策委員会（榊原）

24 会員拡大のため、みたかの森クリニック、井の頭クリニック訪問（菊地、吉澤、小野）

25 全腎協青年会議in東京（阿部、小関）

26 全腎協青年会議in東京（阿部、小関）

28 とうきょうフォーラム実行委員会（榊原）

新しい高齢者医療制度政省令・告示案パブリックコメントを作成し、厚労省へメール送付・東京都後期高齢者医療広域連合長宛要望書作成（糸賀、小関）

後期高齢者医療制度ポスター作成（岸里）

2007年9月

1 青年部役員勉強会（11人）

2 立川相互病院35周年記念式典出席（木下、軽部）

4 NPO東難連都議会ヒアリング（榊原、田中）

日本共産党主催障害者・患者懇談会（榊原・小野）

5 東京都障害者スポーツ大会出席（榊原）

6 2008年度都議会ヒアリング（8人）

7 とうきょうフォーラム実行委員会と供に障害者自立支援法のことで東京都福祉保健局障害施策推進部長松浦様、古屋課長様面談（榊原）

8 青年部役員会議（8人）

第19回理事会（18人、オブ3人）

13 会員拡大のため、自靖会親水クリニック訪問（石井）

17 とうきょうフォーラム実行委員会（榊原）

18 北部ブロック会議（3人）

20 会員拡大のため、江戸川病院訪問（石井）

23 会員交流会（総勢96人）

25 会員拡大のため、自靖会親水クリニック訪問（石井、小林）

27 東京都後期高齢者医療広域連合要請・懇談（榊原、岸里）

全腎協移植推進委員会（榊原）

会員拡大のため、町田ふれあいホスピタル訪問（木下、荏原へ町田市腎友会会長）

会員拡大のため、講道ビルクリニック、おおつか内科クリニック、池袋駅前クリニック、板橋総合病院Iタワークリニック訪問（菊地、古木）

2007年10月

6 青年部役員会議（7人）

7 第27回臓器移植普及推進キャンペーン、上野60人、銀座52人上野→日航ホテル13人

10 藤原前全腎協副会長・東腎協副会長ご逝去

三役会（5人）

青年部役員勉強会（11人）

14 第20回理事会（17人、オブ3人）

16 事務所移転実行委員会（3人）

18 患者会いずみ総会出席（小関）

19 事務所移転実行委員会（3人）

20 全腎協第34回総会（榊原、戸倉）

21 全腎協第34回総会（榊原、戸倉）

青年部主催ボウリング大会（総勢26人）

23 事務所移転実行委員会（4人）

28 相談役会（糸賀他5人）

三役会（5人）

30 障害者自立支援法10・30全国フォーラム参加（4人）

2007年11月

1 会員拡大のため、江戸川病院訪問（石井）

災害時医療支援船事業・患者搬送訓練航海（7人）

3 全腎協組織対策委員会（榊原）

8 災害時備蓄米の件で都議会自民党早坂先生、山加先生、疾病対策課訪問（榊原）

9 青年部役員勉強会（9人）

10 東部ブロック交流会

11

（総勢38人）

11 北部ブロック交流会（総勢16人）

13 臓移連厚労省懇談、要請、記者会見（榊原）

18 収益事業委員会（3人）

編集委員会（6人）

第21回理事会（17人、オブ3人）

23 会員拡大のため、江戸川病院訪問（石井）

24 第71回全腎協理事会（榊原）

会員拡大のため、江戸川病院訪問（石井）

25 第71回全腎協理事会（榊原）

2007年12月

1 第62回全腎協関東ブロック会議（一都八県）

3 JPA「患者・家族の声を」全国大行動（4人）

4 多摩ブロック役員会議（3人）

声の会報ぜんじんきょうNo.224録音、発送（岸里）

8 第3回臓器移植市民講座、臓移連会議（榊原）

11 臓移連衆議院厚労委員会小委員会参考人質疑（榊原）

事務局移転準備委員会（4人）

16 第22回理事会（17人、オブ3人）

24 会員拡大のため、江戸川病院訪問（石井）

25 会員拡大のため、豊島中央病院河辺院長訪問、平塚正会員面談（榊原）

27 駒込共立クリニック患者会設立に向けての話し合い（榊原）

28 板橋中央病院赤松先生の紹介で患者会設立について新大久保渡辺クリニック院長訪問（榊原）

29 三役会・ブロック長会議（6人）

2008年1月

8 臓移連会議（榊原）

12 会員拡大のため、井口泌尿器科訪問（小林、中村）

青年部役員勉強会（10人）

全腎協第72回理事会（榊原）

13 全腎協第72回理事会（榊原）

20 理事集会（20人、オブ2人）

25 事務局移転について引越し業者に見積もり依頼（小野）

30 引越し業者見積もり要請（小野）

2008年2月

3 東部ブロック学習交流会（総勢83人）

9 全腎協第73回理事会（榊原）

10 全腎協第73回理事会（榊原）

15 会員拡大のため練馬高野台クリニック、順天堂大学医学部付属練馬病院訪問（糸賀・古木、菊地）

17 青年部役員勉強会（8人）

編集委員会（4人）

21 会員拡大のため、立花クリニック、日伸クリニック、新江東橋クリニック、土屋クリニック、両国東口クリニック、両国駅前クリニック訪問（吉澤）

24 第20回腎臓病を考える都民の集い（総勢146人）

25 会員拡大のため城田医院、くろさか青木クリニック、医新クリニック訪問（菊地、古木）

28 会員拡大のため、くすのき21クリニック、八木内科、成増クリニック、板橋中央総合病院、Iタワークリニック訪問（菊地、古木）

2008年3月

1 三役会へ提出する予算委員会（3人）

2 キドニーウォーク参加（4人）

4 三役会（5人）

6 会員拡大のため、中野南口クリニック、大塚台クリニック、すがも腎クリニック訪問（菊地、古木）

9 臨時理事会（12人、オブ3人）

11 ヘパリン自主回収問題対応（事務局）

13 世界腎臓デー検尿キャンペーン参加（7人）

14 予算委員会（4人）

15 全腎協総会（榊原、戸倉）

16 全腎協総会（榊原、戸倉）

18 第37次国会請願紹介議員のお願いで衆議院議員会館及び参議院議員会館訪問、災害備蓄米の件で都庁訪問（榊原）

22 青年部役員勉強会（9人）

23 第24回理事会（16人オブ、2人）

27 第37次国会請願（10人）

30 臨時総会（正会員総人数133人、出席正会員52人、書面表決40人、委任状3人いましたが定款により、委任者を正会員にしていないところから無効3人、過半数に達しているため総会成立）

31 三役会（5人）

2008年度終了

財 産 目 録

平成20年 3月31日現在

一般会計　　（単位：円）

科　　目	金　　額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	25,486,264		
現金　現金手許有高	53,063		
郵便振替（南大塚郵便局）	10,299,754		
郵便貯金（南大塚郵便局）	592		
普通預金（三菱東京UFJ銀行）	7,632,855		
定期預金（三菱東京UFJ銀行）	7,500,000		
仮払金	49,000		
流動資産合計		25,535,264	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	90,175		
保証金	1,515,600		
退職給与積立預金（南大塚郵便局）	675,000		
その他の固定資産合計	2,280,775		
固定資産合計		2,280,775	
資産合計			27,816,039
【負債の部】			
流動負債			
預り金	12,040		
源泉税預り金	12,040		
流動負債合計		12,040	
固定負債			
退職給与引当金	675,000		
固定負債合計		675,000	
負債合計			687,040
正味財産			27,128,999

貸借対照表

平成20年 3月31日現在

一般会計　　（単位：円）

科　　目	金　　額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	25,486,264		
仮払金	49,000		
流動資産合計		25,535,264	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	90,175		
保証金	1,515,600		
退職給与積立預金	675,000		
その他の固定資産合計	2,280,775		
固定資産合計		2,280,775	
資産合計			27,816,039
【負債の部】			
流動負債			
預り金	12,040		
流動負債合計		12,040	
固定負債			
退職給与引当金	675,000		
固定負債合計		675,000	
負債合計			687,040
【正味財産の部】			
正味財産			27,128,999
（うち当期正味財産増加額）			(184,164)
負債及び正味財産合計			27,816,039

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

平成20年3月31日現在

（単位：円）

品　　名	取得価格	減価償却額	減価償却累計額	当期末残高
シュレッダー　リコー2211PT	103,000	1,030	98,880	4,120
液晶カラーモニター　シャープ	131,040	1,310	125,798	5,242
オートコレクター　UC1000	249,950	2,589	240,042	9,908
デジタル1眼レフカメラ　キャノン	110,787	19,941	39,882	70,905
合　　計	594,777	24,870	504,602	90,175

1　重要な会計方針

(1) 什器備品の減価償却を行う。

減価償却の方法は定額法とする。

(2) 当期より資金の範囲には、現金・預金（退職積立預金を除く）のほか仮払金及び預り金を含めている。

よって前期、当期の次期繰越収支差額の内容は、下記の表のとおりである。

科　目	前期末残高	当期末残高
現金預金	25,360,630	25,486,264
仮払金	—	49,000
合　計	25,360,630	25,535,264
預り金	—	12,040
次期繰越収支差額	25,360,630	25,523,224

2007年度(平成19年度)決算　特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

収入の部　　2007年4月1日～2008年3月31日　(単位:円)

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
1.会費収入		32,450,000	31,056,370	95.7%	
	会費収入	32,400,000	31,036,370	95.8%	3月31日現在会費収入
	賛助会費収入	50,000	20,000	40.0%	
2.事業収入		100,000	46,867	46.9%	
	提携手数料収入	100,000	46,867	46.9%	エコ・ライス注文手数料
3.寄付金収入		2,000,000	4,071,841	203.6%	
	寄付金収入	1,000,000	1,663,520	166.4%	扶桑薬品、日本腎臓財団、バクスター他
	募金収入	1,000,000	2,408,321	240.8%	国会請願募金
4.その他の収入		100,000	717,717	717.7%	
	受取利息収入	2,000	21,057	1052.9%	定期預金利子
	資料印刷代収入	93,000	96,520	103.8%	患者会等資料印刷代
	全腎協助成金		400,000		関東ブロック会議助成金
	物品販売収入	5,000	200,140	4002.8%	ガイドブック代他
経常収入合計		34,650,000	35,892,795		
5.退職給与積立預金			592		
	退職積立預金利息収入		592		
5.その他の事業会計より繰入金収入		888,000	1,959,179	220.6%	機関誌広告代－広告ページ印刷費
	繰入金収入	888,000	1,959,179	220.6%	
その他資金収入合計		888,000	1,959,771	220.7%	
当期収入合計		35,538,000	37,852,566	106.5%	
前期繰越収支差額		23,098,541	25,360,630		
合計		58,636,541	63,213,196	107.8%	

支出の部 1

2007年度(平成19年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
1. 事業費					
(1)腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業		7,670,000	7,726,188	100.7%	
	移植キャンペーン事業	500,000	695,012	139.0%	
	都民の集い事業	700,000	792,784	113.3%	
	機関誌発行事業	5,330,000	5,291,367	99.3%	事務局員給与1名分含
	ホームページ管理事業	400,000	309,576	77.4%	パソコン周辺保守料金、HP管理諸費用
	知識の普及事業	740,000	637,449	86.1%	理事会各委員会活動、ブロック活動、青年部活動
(2)腎臓病患者の自立を支援するための相談事業		1,600,000	1,728,260	108.0%	
	自立支援事業	1,600,000	1,728,260	108.0%	事務局員給与1名分含、社会保障ガイドブック購入
(3)腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業		130,000	83,392	64.1%	
	都庁予算要請事業	100,000	50,965	51.0%	都庁関係費
	都議会ヒアリング事業	30,000	32,427	108.1%	都議会関係費
(4)関連する他団体との協同事業		12,067,000	12,674,303	105.0%	
	国会請願事業	800,000	1,001,138	125.1%	募金納付金
	全腎協他に協力する事業	11,267,000	11,673,165	103.6%	全腎協会費、東難連会費、全腎協関連活動
(5)福祉移送相談・推進事業		50,000	0	0.0%	
	福祉移送事業	50,000	0	0.0%	
(6)腎臓病患者の食事療法に資する事業		230,000	131,700	57.3%	
	低たんぱく米の広報事業	200,000	127,870	63.9%	
	小学校食育指導事業	30,000	3,830	12.8%	
(7)腎臓病患者の災害対策事業		800,000	2,638	0.3%	
	災害・緊急手帳作成事業	780,000	0	0.0%	
	災害対策訓練事業	20,000	2,638	13.2%	
事業費合計		22,547,000	22,346,481	99.1%	

2007年度(平成19年度)決算　特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

支出の部2

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
2. 管理費					
	給料手当	5,124,000	4,890,000	95.4%	事務局員2名分
	保険料	471,000	626,190	132.9%	社会保険事業主負担分、その他団体傷害保険
	事務局家賃	4,137,588	4,137,588	100.0%	
	什器備品費	800,000	656,180	82.0%	パソコン・印刷機・コピー機リース代
	光熱水費	300,000	308,687	102.9%	電気水道費
	消耗品費	300,000	116,175	38.7%	事務局お茶代、ごみ処理券、マット交換、洗剤他
	通信運搬費	950,000	1,246,052	131.2%	電話器リース代、メール便代、切手代、振込料
	印刷費	400,000	427,549	106.9%	コピー機使用料、印刷用紙代
	総会費	1,700,000	1,282,102	75.4%	議案集費、会場費他
	会議費	900,000	599,410	66.6%	理事会費他
	交通費	340,000	366,261	107.7%	通勤交通費
	租税公課	10,000	2,000	20.0%	登録印紙税
	事務局運営費	150,000	253,830	169.2%	臨時アルバイト代他
	事務用消耗品費		104,279		事務用品費
	慶弔交際費	30,000	30,750	102.5%	
管理費合計		15,612,588	15,047,053	96.4%	
3.退職給与積立預金繰入額		250,000	250,000	100%	
4.その他資金支出	退職積立預金積立金支出	250,000	250,000		
	預り金支出		46,438		
その他資金支出合計		250,000	296,438		
当期支出合計		38,409,588	37,689,972	98.1%	
当期収支差額		−2,871,588	162,594		
次期繰越収支差額		20,226,953	25,523,224	126.2%	

正味財産増減計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

一般会計　　（単位：円）

科　　目	金　　額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	162,594		
退職給与積立預金増加額	250,592	413,186	
負債減少額			
その他負債減少額	46,438	46,438	
増加額合計			459,624
【減少の部】			
資産減少額			
什器備品減価償却額	24,870		
退職積立預金取崩額	592	25,462	
負債増加額			
退職給与引当金繰入額	250,000	250,000	
減少額合計			275,462
当期正味財産減少額			184,162
前期繰越正味財産額			26,944,837
期末正味財産合計額			27,128,999

19年度その他の事業会計　貸借対照表

平成20年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	金　　額		
【正味財産の部】			
正味財産			0
（うち当期正味財産増加額）			0
負債及び正味財産合計			0

19年度その他の事業会計　収支計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	予算額	決算額	備考
【経常収入の部】			
広告料収入	1,408,000	2,398,910	名刺広告、折り込み広告
経常収入合計	1,408,000	2,398,910	
【経常支出の部】			
事業費	520,000	439,731	
機関誌「東腎協」の発行	520,000	439,731	広告ページ印刷費
経常支出合計	520,000	439,731	
経常収支差額	888,000	1,959,179	
【その他資金収入の部】			
その他資金収入合計	0	0	
【その他資金支出の部】			
一般会計へ繰出し金	888,000	1,959,179	
繰入金支出	888,000	1,959,179	
その他資金支出合計	888,000	1,959,179	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

正味財産増減計算書総括表

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	合　　計	一般会計	その他の事業会計
【増加の部】			
資産増加額	413,186	413,186	0
負債減少額	46,438	46,438	0
増加額合計	459,624	459,624	0
【減少の部】			
資産減少額	25,462	25,462	0
負債増加額	250,000	250,000	0
減少額合計	275,462	275,462	0
当期正味財産増加額	184,162	184,162	0
前期繰越正味財産額	26,944,837	26,944,837	0
期末正味財産合計額	27,128,999	27,128,999	0

収支計算書総括表

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	合　　計	一般会計	その他の事業会計
【経常収入の部】			
会費収入	31,056,370	31,056,370	0
事業収入	46,867	46,867	0
寄付金収入	4,071,841	4,071,841	0
その他の収入	717,717	717,717	0
広告料収入	2,398,910	0	2,398,910
経常収入合計	38,291,705	35,892,795	2,398,910
【経常支出の部】			
事業費	22,786,212	22,346,481	439,731
管理費	15,047,053	15,047,053	0
経常支出合計	37,833,265	37,393,534	439,731
経常収支差額	458,440	−1,500,739	1,959,179
【その他資金収入の部】			
退職給与積立預金取崩額	592	592	0
その他の事業会計より繰入金	1,959,179	1,959,179	0
その他資金収入合計	1,959,771	1,959,771	0
【その他資金支出の部】			
その他資金支出	46,438	46,438	0
退職給与積立預金繰入額	250,000	250,000	0
一般会計へ繰出し金	1,959,179	0	1,959,179
その他資金支出合計	2,255,617	296,438	1,959,179
当期収支差額	162,594	162,594	0
前期繰越収支差額	25,360,630	25,360,630	0
次期繰越収支差額	25,523,224	25,523,224	0

監査報告書

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
理事長　榊原 靖夫 様

平成20年4月13日

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
監事　森　義昭
監事　篠原 栄一

私達は、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、2007年度（2007年4月1日から2008年3月31日）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表、収支計算書及び財産増減計算書）について監査を行いました。

監査の方法は、理事会等の議事録その他の重要書類の閲覧をするほか理事から事業の報告を聴取し、また財産の状況については、帳簿及び証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び2007年度の活動方針、事業計画に基づき適正に処理され、2007年度の特定非営利活動法人東京腎臓病協議会の財産の状況は適正なものと認められます。

以上

書式第７号　事業計画書（法第１０条関係）

20 年 度 事 業 計 画 書

20年　4月　1日から　21年　3月　31日まで

特定非営利活動法人　東京腎臓病協議会

1　事業実施の方針

広く一般市民に対し、腎臓病に関する正しい知識普及と予防を図るための事業、及び腎臓病患者の医療体制の充実と福祉向上を図るための政策提言等の事業を行ない、もって市民の健康ならびに福祉向上に寄与することを目的とする。

2　事業の実施に関する事項

（1）

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込み額（千円）
腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	「臓器移植キャンペーン」臓器提供意思表示カード配布	10月	中央区銀座 台東区上野	100人	一般市民 10,000人	295
	「腎臓病を考える都民の集い」を開催し広く一般市民に腎臓病の早期発見早期治療を啓蒙する	2月	千代田区	20人	一般市民 300人	520
	機関誌「東腎協」の発行	年4回	事務局	5人	一般市民 7,000人	3,822
	ホームページの維持管理を行い、活動内容を紹介し、腎臓病の意識啓発を図る	通　年	事務局	5人	一般市民 不特定多数	300
	広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催する	年4回	都　内	10人	一般市民 300人	1,513
腎臓病患者の自立を支援するための相談事業	広く一般市民の腎臓病に関する医療・社会保障制度の相談業務	通　年	事務局	4人	一般市民 不特定多数	1,592
腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	「都庁予算要請懇談会」 都庁各局職員との懇談会	6月	都庁会議室	10人	一般市民 不特定多数	26
	「都議会ヒアリング」 都議会議員との懇談	10月	都議会議員会館会議室	10人	一般市民 不特定多数	17
関連する他団体との協同事業	「国会請願」 全腎協と腎疾患対策の早期確立をめざす	3月	衆議院・参議院議員会館	10人	一般市民 不特定多数	960

関連する他団体との協同事業	全腎協、東難連に協力及び協力金を出し、不特定多数の一般市民に腎臓病について広く啓蒙活動を行う	随　時	都　内	5人	一般市民 不特定多数	10,674
福祉移送相談・推進事業	ＮＰＯを取得し、通院移送を行なおうとする団体の相談及び全腎協助成金申請の推薦	随　時	事務局	1人	通院移送を行うＮＰＯ法人	0
腎臓病患者の食事療法に資する事業	低たんぱく米の広報・斡旋、災害時備蓄米斡旋	随　時	事務局	3人	一般市民 不特定多数	130
	ＮＰＯ米ニケーションと協力し、小学校社会科の授業の一環である「低たんぱく米」収穫までの補助及び教員とともに食育指導を行う	年2回	都　内	3人	都内小学校生徒及び教員	4
腎臓病患者の災害対策事業	災害・緊急時透析手帳の作成	10月	事務局	5人	一般市民 10,000人	700
	東京都を中心とした東京都区部災害時透析ネットワーク他多方面の自治体と協力をして災害対策訓練実施に参加する	随　時	都　内	10人	一般市民 不特定多数	3

（2）その他の事業

事業名	事　業　内　容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支出見込み額（千円）
広告掲載事業	機関誌広告掲載	年4回	事務局	5人	440

2008年度（平成20年度）予算　特定非営利活動に係る事業会計予算

収入の部

2008年4月1日～2009年3月31日　（単位：円）

大科目	中科目	19年度予算	19年度決算	20年度予算	備考
1.会費収入		32,450,000	31,056,370	30,800,000	
	会費収入	32,400,000	31,036,370	30,780,000	5,700人
	賛助会費収入	50,000	20,000	20,000	
2.事業収入		100,000	46,867	40,000	
	提携手数料収入	100,000	46,867	40,000	エコ・ライス注文手数料
3.寄付金収入		2,000,000	4,071,841	3,970,000	
	寄付金収入	1,000,000	1,663,520	1,570,000	扶桑薬品、日本腎臓財団他
	募金収入	1,000,000	2,408,321	2,400,000	国会請願募金
4.その他の収入		100,000	717,717	198,000	
	受取利息収入	2,000	21,057	21,000	定期預金利子
	資料印刷代収入	93,000	96,520	87,000	患者会等資料印刷代
	全腎協助成金		400,000	0	
	物品販売収入	5,000	200,140	90,000	ガイドブック代
経常収入合計		34,650,000	35,892,795	35,008,000	
5.退職給与積立預金			592	0	
	退職預金利子収入		592	0	
6.その他の事業から繰入金収入		888,000	1,959,179	1,600,000	機関誌広告代－広告ページ印刷費
	繰入金収入	888,000	1,959,179	1,600,000	
その他資金収入合計		888,000	1,959,771	1,600,000	
収入合計		35,538,000	37,852,566	36,608,000	
前期繰越収支差額		23,098,541	25,360,630	25,523,224	
合計		58,636,541	63,213,196	62,131,224	

支出の部　1

2008年度（平成20年度）予算　特定非営利活動に係る事業会計予算

大科目	中科目	19年度予算	19年度決算	20年度予算	備考
1. 事業費					
(1)腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業		7,670,000	7,726,188	8,360,000	
	移植キャンペーン事業	500,000	695,012	295,000	
	都民の集い事業	700,000	792,784	520,000	
	機関誌発行事業	5,330,000	5,291,367	5,383,000	事務局員給与1名分含
	ホームページ管理事業	400,000	309,576	650,000	HP管理諸費用、パソコン周辺保守料金、
	知識の普及事業	740,000	637,449	1,512,000	ブロック、青年部活動、患者会・施設訪問
(2)腎臓病患者の自立を支援するための相談事業		1,600,000	1,728,260	1,592,000	
	自立支援事業	1,600,000	1,728,260	1,592,000	事務局員給与1名分含
(3)腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業		130,000	83,392	43,000	
	都庁予算要請事業	100,000	50,965	26,000	都庁関係費
	都議会ヒアリング事業	30,000	32,427	17,000	都議会関係費
(4)関連する他団体との協同事業		12,067,000	12,674,303	11,634,000	
	国会請願事業	800,000	1,001,138	960,000	募金納付金
	全腎協他に協力する事業	11,267,000	11,673,165	10,674,000	全腎協会費、東難連会費、活動費
(5)福祉移送相談・推進事業		50,000	0	0	
	福祉移送事業	50,000	0	0	
(6)腎臓病患者の食事療法に資する事業		230,000	131,700	134,000	
	低たんぱく米の広報事業	200,000	127,870	130,000	
	小学校食育指導事業	30,000	3,830	4,000	
(7)腎臓病患者の災害対策事業		800,000	2,638	703,000	
	災害・緊急手帳作成事業	780,000	0	700,000	
	災害対策訓練事業	20,000	2,638	3,000	
事業費合計		22,547,000	22,346,481	22,463,000	

支出の部2

2008年度（平成20年度）予算 特定非営利活動に係る事業会計予算

大科目	中科目	19年度予算	19年度決算	20年度予算	備考
2. 管理費					
	給料手当	5,124,000	4,890,000	4,890,000	2名分
	保険料	471,000	626,190	600,000	社会保険事業主負担分、その他団体傷害保険
	事務局家賃	4,137,588	4,137,588	3,297,000	事務所移転により
	什器備品費	800,000	656,180	600,000	パソコン・印刷機・コピー機リース代
	光熱水費	300,000	308,687	300,000	
	消耗品費	300,000	116,175	110,000	名刺、事務用品
	通信運搬費	950,000	1,246,052	1,140,000	電話器リース代、メール便代、切手代、振込料他
	印刷費	400,000	427,549	370,000	コピー機使用料、印刷用紙代
	総会費	1,700,000	1,282,102	1,100,000	議案集費、会場費
	会議費	900,000	599,410	350,000	理事会費他
	交通費	340,000	366,261	365,000	通勤定期代
	租税公課	10,000	2,000	5,000	
	事務局運営費	150,000	253,830	200,000	臨時アルバイト代
	事務用消耗品費		104,279	80,000	
	慶弔交際費	30,000	30,750	31,000	
	事務所移転費		0	2,075,000	
管理費合計		15,612,588	15,047,053	15,513,000	
3退職給与積立預金繰入額		250,000	250,000	250,000	
	退職預金積立金支出	250,000	250,000	250,000	
4.その他資金支出			46,438	0	
	預り金支出		46,438	0	
その他資金支出合計		250,000	296,438	250,000	
支出合計		38,409,588	37,689,972	38,226,000	
収支差額		−2,871,588	162,594	−1,618,000	
前期繰越収支差額		23,098,541	25,360,630	25,523,224	
次期繰越収支差額		20,226,953	25,523,224	23,905,224	

2008年度（平成20年） その他の事業会計 収支予算

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	19年度決算額	20年度予算額	備考
【経常収入の部】			
広告料収入	2,398,910	2,040,000	年間契約8社、折込広告
経常収入合計	2,398,910	2,040,000	
【経常支出の部】			
事業費	439,731	440,000	
機関誌「東腎協」の発行	439,731	440,000	広告ページ印刷費
経常支出合計	439,731	440,000	
経常収支差額	1,959,179	1,600,000	
【その他資金収入の部】			
その他資金収入合計	0	0	
【その他資金支出の部】			
一般会計へ繰出し金	1,959,179	1,600,000	
繰入金支出	1,959,179	1,600,000	
その他資金支出合計	1,959,179	1,600,000	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

2008年5月8日現在

2008年度理事及び候補者

No.	役職名	氏　名	患　者　会　名
1	会　長	榊原　靖夫	高中腎友会　（全腎協理事）
2	副会長	木下　久吉	笹塚愛生クリニック患者友の会
3	副会長	戸倉　振一	森山友の会　（全腎協正会員）
4	事務局長	小関　盛通	柳原健腎会
5	会　計	軽部　和之	立川相互病院希望会
6	理　事	石井　虎二	新小岩クリニック友の会（船堀）
7	理　事	石山久美子	久野クリニック腎友会
8	理　事	井上　寧枝	吉祥寺あさひ腎友会
9	理　事	押山　大作	にこたま会
10	理　事	小野　　誠	吉祥寺あさひ腎友会
11	理　事	菊地　貞夫	優人クリニック患者会
12	理　事	岸里　　悟	森山友の会
13	理　事	木村　妙子	上野しのばず会
14	理　事	久保　正業	松和患者会新宿南口支部
15	理　事	黒田　文夫	板中腎友会
16	理　事	小林　　敬	町屋駅前クリニック腎友会
17	理　事	澤田　載子	代々木病院友の会
18	理　事	須賀　春美	虎の門友の会
19	理　事	田河内　乙	にこたま会
20	理　事	田中　助成	聖路加ニーレ会
21	理　事	中村　博	新葛飾ロイヤルクリニック友の会
22	理　事	蛭田　範博	新小岩クリニック友の会（新小岩）
23	理　事	古木　直之	鶴田クリニック友の会
24	理　事	吉澤　正雄	新橋青木クリニック腎友会
25	理　事	吉田　芳子	南大沢パオレ腎友会
26	監　事	篠原　栄一	中野クリニック腎友会
27	監　事	森　　義昭	虎の門友の会
28	相談役	一ノ清　明	虎の門会分院
29	相談役	糸賀　久夫	松和患者会新宿南口支部
30	オブザーバー	斉藤　稔	あけぼの友の会
31	オブザーバー	鈴木　敏雄	あけぼの友の会
32	オブザーバー	新見　範彦	新小岩クリニック友の会
33	オブザーバー	金井　信憲	新江東橋クリニック腎友会
34	オブザーバー	鈴木　芳信	新江東橋クリニック腎友会
35	オブザーバー	小泉　剛	新橋青木クリニック腎友会
36	オブザーバー	糸　修	すながわ相互患者会・いずみ
37	オブザーバー	山口　登	吉祥寺あさひ腎友会
38	オブザーバー	梅原　秀考	府中けやき会
39	オブザーバー	池谷　匠	めじろ会
40	オブザーバー	海野　尚志	立花クリニック友の会

2008年5月8日現在

2008年度正会員名簿

No.	役職名	氏　名	患者会名
1	正会員	安藤　巴	愛和腎友会
2	正会員	高橋　初子	青葉病院腎友会
3	正会員	島貫　克利	赤羽中央病院腎センター腎友会
4	正会員	宮本 保	昭島腎クリニックひまわり会
5	正会員	金井 仁	秋葉原腎クリニック腎友会
6	正会員	及川 一俊	あけぼの友の会
7	正会員	増賀 従男	あけぼのクリニック友の会
8	正会員	上垣 保朗	阿佐谷すずき腎友会
9	正会員	浅見　正治	あすなろ会
10	正会員	西村 竹俊	小豆沢病院透析友の会
11	正会員	安形 晃一	飯田橋クリニツク腎友会
12	正会員	渡辺 峰男	井口腎友会（足立区竹ノ塚）
13	正会員	戸嶋　美知夫	井口腎友会（足立区竹ノ塚）
14	正会員	安藤　しげ子	板中腎友会
15	正会員	岡部 軍治	稲城市立病院腎友会
16	正会員	吉田 滋彦	井の頭クリニック腎友会
17	正会員	大久保明雄	今尾医院腎友会
18	正会員	杉浦 健祐	入谷クリニック腎友会
19	正会員	吉岡　ひろみ	上野しのばず会
20	正会員	中嶋 仁司	大島腎友会
21	正会員	蒲原 栄子	大森東クリニック腎友会
22	正会員	大山腎友会	大山腎友会
23	正会員	佐藤 歳夫	御徒町腎クリニック友の会
24	正会員	矢浪　流	小笠原クリニック友の会
25	正会員	菊池　義久	織本病院腎友会
26	正会員	友田恵三	菊川橋クリニック腎友会
27	正会員	平川　廣	嬉泉病院ニーレ友の会
28	正会員	吉田 悦男	北多摩病院腎友会
29	正会員	木村 せい	北病院腎友会
30	正会員	服部　みや子	吉祥寺あさひ腎友会
31	正会員	菱沼　武志	吉祥寺あさひ腎友会
32	正会員	渋谷　重雄	境南クリニック患者会
33	正会員	篠田　喜代	貴友会王子病院腎友会
34	正会員	伊藤 保雄	杏林腎友会
35	正会員	廣瀬　憩子	くにたち桜会
36	正会員	高橋 国一	桑の実会
37	正会員	川北　彰子	小池内科患者会小池会
38	正会員	金井 信憲	新江東橋腎友会
39	正会員	岩男　幸尚	国分寺こやま腎友会
40	正会員	藤山　久光	国分寺南口クリニック親光会
41	正会員	本木　和明	幸町腎クリニック腎友会
42	正会員	相馬　久仁子	笹塚愛生クリニック友の会
43	正会員	細野　春江	三軒茶屋病院腎友会
44	正会員	菊地　典子	三軒茶屋病院腎友会

45	正会員	神保　和雄	十条腎和会
46	正会員	福田　龍美	松和患者会新宿南口支部
47	正会員	田中　克人	松和患者会西新宿支部
48	正会員	黒川　英彦	松和患者会ｶﾄﾚｱ支部
49	正会員	鍬守　和徳	松和患者会ｶﾄﾚｱ支部
50	正会員	安部 克明	新小岩クリニック友の会
51	正会員	清水 国衛	新宿水明ｸﾘﾆｯｸ腎友会
52	正会員	佐藤 あき子	新橋青木クリニック腎友会
53	正会員	北見　潔	腎研友の会
54	正会員	高山　衛士	NPO法人　すずらんの会
55	正会員	**佐藤　真佐子**	すながわ相互診療所患者会いずみ
56	正会員	寺師　盛幸	清湘会記念病院腎友会
57	正会員	富永　ますみ	聖蹟さくら会
58	正会員	栁下　征弘	聖蹟さくら会
59	正会員	一條　恵子	聖蹟さくら会
60	正会員	田中　新一	聖路加ニーレ会
61	正会員	柳澤 政義	成和腎クリニック友の会
62	正会員	中島　信夫	高尾もみじ会
63	正会員	三河　勝実	高中腎友会
64	正会員	隅田　一巳	高松病院患者会
65	正会員	北村　澄子	竹口病院腎友会
66	正会員	中村 文子	立川北口駅前腎友会
67	正会員	徳永 功	立川相互診療所希望会
68	正会員	河内 亜登務	立花クリニック友の会
69	正会員	中村　正彦	調布病院腎友会
70	正会員	渡邉 靖	調布東山病院腎友会
71	正会員	下島　正資	鶴田クリニック友の会
72	正会員	猪狩 奈美枝	帝京大学病院腎友会
73	正会員	寺田　光男	寺田病院腎友会
74	正会員	渡辺 精二	東海病院ひまわり会
75	正会員	池田　典幸	東京綾瀬腎クリニック腎友会
76	正会員	会沢 常謙	東京共済病院腎友会
77	正会員	平出　米市	東京健生病院サボテン会
78	正会員	岩崎 誠	東和病院腎友会
79	正会員	上條　良友	虎の門友の会
80	正会員	大場　光伴	虎の門会分院
81	正会員	村井　靖治	中野クリニック腎友会
82	正会員	下山田　守	長久保クリニック腎友会
83	正会員	降旗 雄二	永山腎友会
84	正会員	高橋 春児	にこたま会
85	正会員	関森　一雄	西口21友の会
86	正会員	小野崎　勝	練馬・桜台クリニック患者会
87	正会員	中村　益巳	練馬・桜台クリニック患者会
88	正会員	内藤 富一	ノリ・メディカルクリニック腎友会
89	正会員	遠藤 洋一	羽村相互診療所たんぽぽの会
90	正会員	清水 泰一	東高円寺フェニックス会
91	正会員	小川 正人	聖橋クリニック腎友会
92	正会員	鈴木　傑介	聖橋クリニック腎友会

93	正会員	宮城　文江	深川橋クリニック腎友会
94	正会員	尾崎 治行	府中けやき会
95	正会員	大山　きみ	府中けやき会
96	正会員	阿部　幸子	府中けやき会
97	正会員	前田　雅也	豊生会
98	正会員	矢沢 輝之	望星田無友の会
99	正会員	片平　喜代子	町田慶泉病院腎友会
100	正会員	古川 富男	町屋駅前クリニック友の会
101	正会員	すみれ会	松村クリニックすみれ会
102	正会員	藤田 亮一	みさと健腎会
103	正会員	多田 可子	瑞江腎クリニック腎友会
104	正会員	瀬賀 康平	三鷹北口クリニック腎友会
105	正会員	野崎 順子	南大沢パオレ腎友会
106	正会員	大野 幸子	南千住病院河童会
107	正会員	中島　哲夫	南多摩病院のばら会
108	正会員	小堀　明人	南多摩病院のばら会
109	正会員	二瓶　眞	武蔵境駅前クリニック腎友会
110	正会員	堀　豊	村上医院ひまわり会
111	正会員	池谷 匠	めじろ会（西澤クリニックめじろ会）
112	正会員	加藤　修平	森山友の会
113	正会員	宗像　聡之	森山友の会
114	正会員	浦辺　是諒	谷中三和クリニック腎友会
115	正会員	田口 一郎	柳原健腎会
116	正会員	池崎　一彦	山田クリニック腎友会
117	正会員	北爪 勇	湯島腎友会
118	正会員	五十嵐　信康	優人クリニック患者会
119	正会員	大畑 ハナ	新小岩クリニック友の会（船堀）
120	正会員	菅原 八重	代々木病院腎友会（桃井診療所）
121	正会員	永井　康太郎	代々木病院腎友会（中野共立診療所）
122	正会員	稲垣　正	東海病院ひまわり会（高野台支部）
123	正会員	石川　美智子	青梅市立病院グループ
124	正会員	酒詰　孝子	金町中央病院グループ
125	正会員	磯崎 英世	中央サマリア病院グループ
126	正会員	久保田 由美子	東葛クリニック小岩グループ
127	正会員	渡辺　眞一	西クリニックグループ
128	正会員	島田 孝司	東村山診療所グループ
129	正会員	北川　有利子	豊田クリニックグループ
130	正会員	池野茂久太	個人会員
131	正会員	佐々木浩司	個人会員
132	正会員	永井　　聡	個人会員
133	正会員	松沢　　博	個人会員
134	正会員	菱沼　武志	個人会員
135	正会員	深瀬　祥子	個人会員
136	正会員	古田　博重	個人会員
137	正会員	山田　　章	個人会員
138	正会員	山田　　章	個人会員

昭和46年８月７日第三種郵便物認可　ＳＳＫＡ増刊通刊6204号（毎月６回１の日６の日発行）２００８年４月15日発行

発行所　障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6－26－21
頒価一二百円